

2. 3 古典の装束文化について知ろう（国語分野）

(1) 研究開発の課題（研究概要）

本講座では、古典の装束（十二単・束帯など）の着付けを目の前で講師に実演してもらいながら、当時の装束やそれにまつわる文化について講演を受ける。

(2) 研究開発の経緯

普段の授業で古典文化について便覧などを用いて視覚的に学習をしたうえで、その理解や興味を深めるために「きもの装束文化研究所」の松本亀代子先生に講師を依頼した。

(3) 研究開発の内容

ア 仮説（ねらい、目標）

古典の素養を身に付け、人文科学の考え方を理解する契機とする。

イ 研究の内容・方法

該当教科 SSH 国語

対象生徒 本校生徒希望者

日時場所 3月12日(土)本校 桃陵館

実施内容

講演 講師 きもの装束文化研究所 松本 亀代子 先生

内容 「十二単」「束帯」の着付け実演と和装文化についての講演

3 科学コンテスト

(1) 研究成果の発表会

ア ISEF(International Science and Engineering Fair/国際学生科学技術フェア)

R3年3月まで物化部に所属していた3名の卒業生が、今年5月オンラインで開かれた国際大会「ISEF」にて、在学中に行った「イオン液体によるセルロースの酸加水分解の効率化」の研究を発表し、American Chemical Society の Certificate of Honorable Mention を受賞した。

イ 核融合科学研究所オープンキャンパス高校生科学研究室オンライン発表会

物化部に所属する5名の生徒による「靱殻を用いた電気二重層コンデンサの作製」の研究が優秀賞を受賞した。

ウ 東海地区理科研究発表会

生物部に所属する2名の生徒による「タナゴ属の人工的産卵装置の開発と産卵促進」が最優秀賞を受賞した。

エ AITサイエンス大賞

地学部所属する6名の生徒による「プラネタリウム公開継続に向けて」と生物部に所属する1名の生徒による「イタセンバラ保護啓発活動」が、社会科学・地域づくり部門で、それぞれ優秀賞を受賞した。

オ 名大みらい育成プロジェクト(文系分野)

2年生の1名の生徒が第3ステージを通過し、徳島県内で開催される国内研修にて発表を行った。

(2) 科学オリンピック

ア 化学グランプリ2021

2・3年生の計10名の生徒が参加し、うち3名が奨励賞を受賞した。

イ 日本生物学オリンピック2021

1～3年生の計11名の生徒が参加し、うち1名が全国大会に出場して銅賞を受賞した。

ウ 第32回日本数学オリンピック(JMO)

1・2年生の計26名の生徒が参加した。